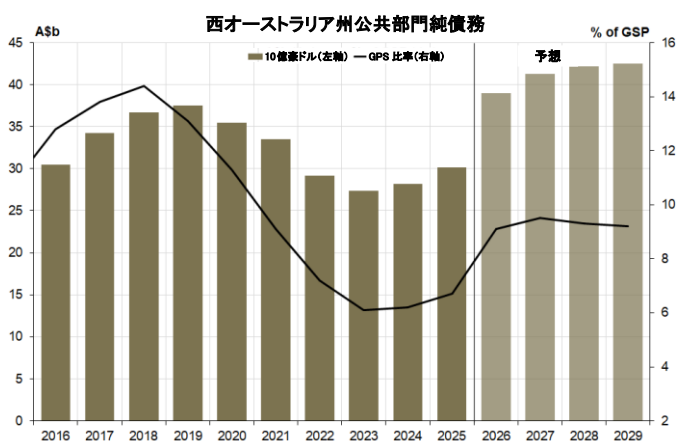
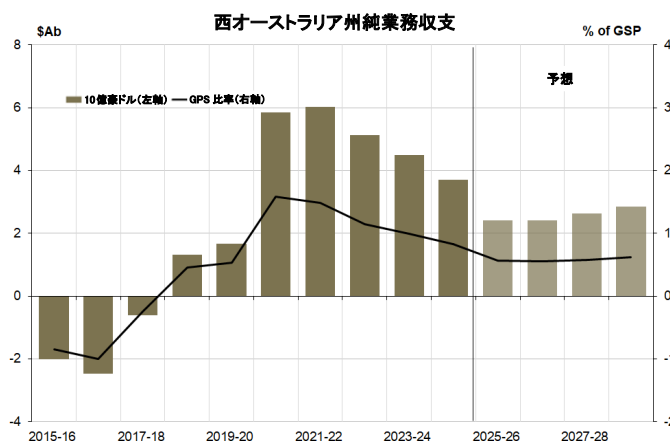


西オーストラリア州関連データハイライト

- RBA は 9 月、予想どおり政策金利目標を 3.60% で据え置いた一方、金融引締め姿勢を一段と明らかにした。
- 西オーストラリア州の雇用者数は 8 月までに 1.2% 増加した一方、失業率は 3.8% であった。
- パースの住宅価格は 9 月に 1.6% 上昇し、住宅用建物建設許可件数は 8 月に 7.3% 減少した。
- 2024-25 年度州会計報告書によれば、業務余剰は増加した一方、純債務は下方修正された。
- WATC は、2037 年 10 月 21 日満期の 5.0% クーポン付ベンチマーク債を発行した。

2024-25 年度州会計報告書

- 2025 年 9 月 26 日、西オーストラリア州政府は 2024-25 年度州会計報告書 を発表し、2025 年 6 月 19 日に発表された 2025-26 年度予算での予想を大幅に上回る良好な財政状態であることが明らかになった。
- 一般政府部門の 2024-25 年度業務余剰は、2025-26 年度予算での予想を 11 億豪ドル上回る 37 億豪ドルであった。
- 良好な財政状態をもたらしたのは 2025-26 年度予算での予想を上回る 13 億豪ドル (2.7%) となった収入で、わずかに増加した支出がこれを部分的に相殺した。
- 予想を上回る収入は、DisabilityCare Australia Fund からの助成金 10 億豪ドルの早期受領を原因とする連邦政府助成金の増加 (予算比 11 億豪ドル増) を反映したものであった。同助成金は、国家障害者保険制度への移行で過年度に発生した費用を西オーストラリア州に払い戻すものであった。一部の州政府部門による財およびサービスの販売増も 2025-26 年度予算での予想を 2 億豪ドル上回り、収入の上方修正に寄与した。
- 一般政府支出は 2025-26 年度予算での予想を 1 億 8,000 万豪ドル上回り、この主因となったのが医療および障害者制度に関する支出増であった。
- 一方、2025 年 6 月 30 日時点の公共部門全体の純債務は、2025-26 年度予算での予想を 34 億豪ドル下回る 302 億豪ドルであった。これは西オーストラリア州の予想州総生産の 6.7% で、他州における同数値を大幅に下回るレベルであった。
- 西オーストラリア州は引き続き S&P グローバルとムーディーズ両方から「トリプル A」格付けを取得しているオーストラリア唯一の州で、当州における財務管理および経済の堅調さが国際的に認知されていることを裏付けている。
- 西オーストラリア州の堅調な経済および財政状態に関する認知度は先日発行された 2037 年満期 WATC 債 にも反映されており、目標規模を大幅に上回る需要があった同債券の応募者の半数近くは新規クライアント 7 社 (国際的投資家 5 社を含む) を含む海外投資家であった。



出典: Western Australian Department of Treasury and Finance

オーストラリア金利(%)			為替と株価		
RBA 政策金利目標	3.60	(0 pt)	AUD/USD	0.6613	(↑1.1%)
90 日銀行手形	3.58	(↑1 pt)	AUD/JPY	97.82	(↑1.7%)
連邦政府 3 年国債	3.55	(↑15 pt)			
連邦政府 10 年国債	4.30	(↑3 pt)	ASX200	8849	(↓124 pt)

市場概況

- RBA 金融政策会合は 9 月、予想どおり政策金利目標を 3.60% で据え置いた。会合後の声明では、第 3 四半期のトリム平均インフレ率は RBA が 8 月ラウンドで予想した数値を上回り得る合理的リスクが存在することから、今後の利下げの可能性は減少したことが示唆された。その結果、政策金利引下げに対する市場の期待は大幅に縮小し、11 月の利下げ可能性は 50% を大幅に下回り、2 月の利下げ可能性は十分に織り込まれていない。しかし、政策金利先物ではあと 1 回の利下げがすでに織り込まれており、2025 年第 2 四半期に最後の利下げが行われる可能性が最も高くなっている。
- 政策金利引下げ期待の縮小によりオーストラリア国債 3 年物利回りは 9 月に大幅上昇した一方、10 年物利回りは米 FRB による緩和サイクルの回復および地政学的懸念、さらにそれらに起因する安全資産需要の増加を初めとする世界的要因によりわずかな上昇に留まった。WATC 債と連邦政府国債の利回りスプレッドは 9 月に縮小するのが一般的で、他月よりもスプレッドは縮小した。
- 豪ドルは 9 月に最も強い G10 通貨となったが、これを支えたのが政策金利引下げ期待の縮小と鉄鉱石および金を初めとする主要輸出コモディティ価格の上昇であった。
- オーストラリアのベンチマーク株式指数である ASX200 は 9 月に 1.4% 下落し、月次レベルでは本年 3 月以来初の下落となった。コモディティ価格の上昇という恩恵を受けた素材部門は上昇を見せた唯一の部門であった一方、オーストラリアの利下げ回数減の見込みから他部門に対するセンチメントは悪化した。

WATC 指標銘柄債券の利回り				
満期	利回り 2025 年 9 月 30 日		AGS スプレッド 2025 年 9 月 30 日	
2025 年 7 月 23 日	3.52	(↑12 pt)	-3 pt	(↓3 pt)
2026 年 10 月 21 日	3.58	(↑16 pt)	+8 pt	(-)
2027 年 10 月 20 日	3.69	(↑14 pt)	+16 pt	(↓2 pt)
2028 年 7 月 20 日	3.84	(↑12 pt)	+23 pt	(↓5 pt)
2029 年 7 月 24 日	4.02	(↑11 pt)	+28 pt	(↑1 pt)
2030 年 10 月 22 日	4.17	(↑7 pt)	+29 pt	(↓1 pt)
2031 年 10 月 22 日	4.31	(↑4 pt)	+33 pt	(↓7 pt)
2033 年 7 月 20 日	4.46	(↑1 pt)	+36 pt	(↓9 pt)
2034 年 10 月 24 日	4.70	(-)	+47 pt	(↓4 pt)
2035 年 10 月 24 日	4.76	(↓2 pt)	+46 pt	(↓5 pt)
2037 年 10 月 21 日	5.02	(-)	+57 pt	(-)
2041 年 7 月 23 日	5.27	(↓1 pt)	+62 pt	(↓6 pt)

